

看護大学 だより

#13

新しい学び・人・キャンパス
福岡看護大学の魅力を
ご紹介します!



2019年9月より、一期生の3年次臨地実習が開始されました。2020年3月までの半年間、九州大病院など多くの病院や施設において、5人グループ単位で実習先を変えながら成人(急性・慢性期)、母性、小児、精神、高齢者、高齢者在宅、訪問の各看護学に関連する看護を実施していきます。これまで経験した基礎看護学実習や看護過程実習を基盤に、看護実践の学びをより一層深める本格的な実習です。

西田結香さん、野中愛さん、平井美菜さんは、「開始前はやっていけるか不安でも緊張していた。実習が始まって、自分が心を開かないと患者さんも心を開いてくれないことを実感し、一人で悩んでいたことを指導者や教員に相談できるようになった。」「解らないことを解らないままにしておくことは怖いと思った。」「1年次や2年次の実習を経て、今回は一層、情報収集のポイントが解るようになり、記録も徐々に速く書けるようになった。」「長期間に渡る実習の中で優先順位を考えることができるようになった。」「自分の体調管理のためにもオン・オフの切り替えが大切だと実感した。」など、今回の実習で得た学びについて話してくれました。様々な分野の看護学の実習をこなしていくにあたっては、準備も実施もハードなものとなりますが、一方で、多くの実習施設での看護実践を行えたことで、自分の就職先についてのイメージもでき、かけがえのない経験が出来たようです。

この4月には彼ら一期生は最終学年を迎え、統合看護学実習、就職試験、看護課題研究などを経て、いよいよ国家試験へと臨むこととなります。

(大久保つや子・寒水草納)

